

放送大学/東京多摩学習センター/入学者のつどい

教務ガイダンス

2022-04-03



ご入学おめでとうございます

このガイダンスでは、大学での学習にあたり必要な情報を
新入生の皆様にお伝えします。

使用する資料

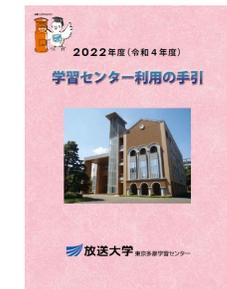
- 大学本部から郵送でお届けしている

『**学生生活の栞**』



- 東京多摩学習センターで配布している

『**学習センター利用の手引き**』



2つの資料はホームページからダウンロードできます

『学生生活の栞』：

「放送大学ホームページ」

<https://www.ouj.ac.jp/hp/campus/>

『学習センター利用の手引き』：

「放送大学・東京多摩学習センターのホームページ」

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tama/>

放送大学のホームページとは別に各学習センター毎のホームページがあります。

学習センターに関するご案内を掲載しています。

- ・学習センターの利用
- ・図書室・視聴学習室の利用
- ・センターで開講する
面接授業に関するご案内
- ・行事のことなど

『学生生活の栞』

① 放送大学公式ホームページを開く
【在学生】をクリックする



② 画面を下方へスクロールする



ページの一番下へ



関連情報

ここをクリック

- [2021年度 学生生活の栞 \(学部\)](#)
- [2021年度 学生生活の栞 \(大学院\)](#)
- [システムWAKABA、キャンパスメールへのログイン方法について](#)
- [キャンパスメールの利用方法について](#)
- [継続入学申請マニュアル](#)

『学習センター利用の手引き』

放送大学東京多摩学習センターホームページを開く

放送大学 東京多摩学習センター

HOME この学習センターについて スケジュール・授業案内 各種お手続き お問い合わせ

東京多摩学習センター

資料請求 (無料)

インターネット

施設情報

クイックリンク

- センタースケジュール
- 施設利用案内
- アクセス
- 関連リンク集

PDFファイルの閲覧には Adobe Readerが必要です。

放送大学からのお知らせ

21年08月17日 一般・自校生の方

新型コロナウイルス関連情報 NEW

東京多摩学習センターだより

- ◆手引き『多摩学習センター利用の手引き』 2021(令和3)年度
- ◆機関誌『多まなび』26号

詳細は[この学習センターについて]より「[機関紙紹介](#)」をご覧ください。

学習センター近隣託児所のご案内

- ・小平市一鈴橋かりき児童利用案内
- ・キッズスクエアについて

放送大学公式HP

- ・新型コロナウイルス関連情報 (随時更新)
- ・2022年度放送大学大学院入学選考について

放送大学 東京多摩学習センター

〒187-0045 東京都小平市学園西町1-29-1 一橋大学小平国際キャンパス内 TEL: 042-349-3467

ページ下の方へスクロールする

ここをクリックする

東京多摩学習センターだより

- ◆手引き『多摩学習センター利用の手引き』 2021(令和3)年度
 - ◆機関誌『多まなび』26号
- 詳細は[この学習センターについて]より「[機関紙紹介](#)」をご覧ください。

多まなび

この入学ガイダンス資料も、「東京多摩学習センターホームページ」にUPしています。

放送大学 東京多摩学習センター

HOME この学習センターについて スケジュール・授業案内 各種お手続き お問い合わせ

ようこそ 東京多摩学習センターへ

東京多摩学習センター (3/19更新)

多摩学習センター所属の学生に限り
3/23(水)より【入構制限】を解除します。
ただし、4/3(日)は【入館】できません。

開所時間【窓口・電話】9:30~17:30
閉所日: 月曜・祝日
入構する際は以下をお願いいたします。

- ◆検温
- ◆手拭消毒
- ◆常時マスク着用

詳しくはこちら

放送大学公式 ウェブサイト

- ・新型コロナウイルス関連情報 (随時更新)
- ・放送大学とは? こんな大学

資料請求 (無料)

インターネット 出庫

借書機

放送大学サイト

システムWAKABA (在学生向け情報検索)

クイックリンク

- センタースケジュール
- 施設利用案内
- アクセス

関連リンク集

PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。

Get ADOBE READER

「2022-1学期 入学者の集い」 (3/19更新)

主催: 東京多摩学習センター
ZOOMにて開催
日時: 4月3日(日) 13:30~
詳しくは、こちら をご覧ください。
◆教務ガイダンス資料 (4/1更新)

2022年度第1学期「多摩ゼミのご案内」 (4/1更新)

詳しくは、こちら をご覧いただき、メールでお申込みください。

「パソコン教室」について (2022.3.27更新)

★2022年度4月からの予定などこちら をご覧ください。
★参加予約は不要です。
直接教室までお越しください。

本日お伝えすること

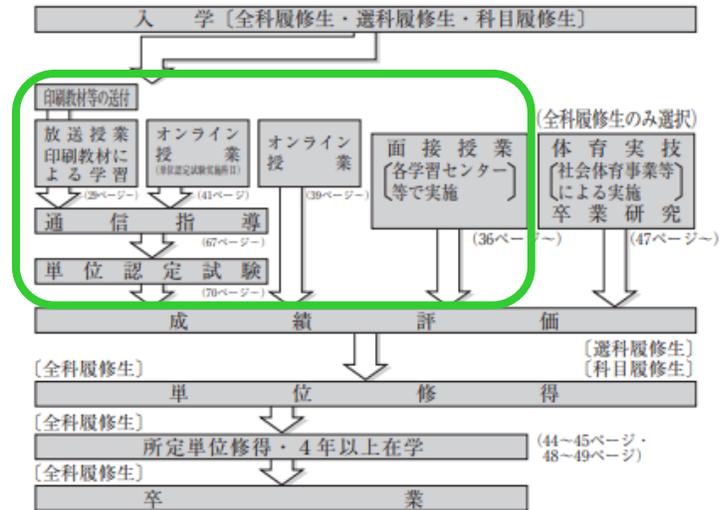
1. 放送大学の学習システム （〈学生生活の栞教養学部〉P12～）
2. 学年暦 （〈学生生活の栞教養学部〉P10）
3. 学生証 （〈学生生活の栞教養学部〉P18）
4. システムWAKABA/キャンパスメール （〈学生生活の栞教養学部〉P22、P112～）
5. 学習センターについて （〈学生生活の栞教養学部〉P107）
6. 履修計画の立て方 （〈学生生活の栞教養学部〉P42～）
7. 諸手続・諸証明書 （〈学生生活の栞教養学部〉P85、100、書式P145～）

○東京多摩学習センターの「多摩ゼミ」、「学習相談」

1. 放送大学の学習システム (〈学生生活の専任教養学部〉P12~)

2 放送大学の学習システム

放送大学の授業は、主に放送授業（放送などの視聴と印刷教材による学習）と面接授業（スクーリング）とオンライン授業（インターネットを利用した学習）で行われます。それぞれの詳細については、該当ページをご参照ください。



◎郵便事故について

住所変更が行われていない場合や、郵便局による誤配等により、放送大学からの重要な通知が届かない場合があります。下記の未着照会時期になっても該当する送付物が届かない場合は、郵便事故が考えられますので、本部学生課にお問合せください。申請期間を過ぎると受け付けできませんので十分ご注意ください。

送付物名称	未着照会時期		注 釈
	1学期	2学期	
通信指導問題	5月	11月	通常は、印刷教材に同封されます。
通信指導自習型問題の解答・解説	5月	11月	
通信指導 添削結果	2022年度 冊子の日 程を ご確認 ください		通信指導問題未提出者には、送付されません。
単位認定試験受験票			通信指導問題の未提出および不合格者には送付されません。
科目登録の案内 (科目登録申請要項)	9月中旬		次学期学籍のある全科履修生・選科履修生の方が対象
授業料の払込票	3月中旬		

※1：単位認定試験受験票送付時に通信指導問題未提出者および不合格者には、「単位認定試験受験資格なし」の通知が送付されます。

学習は、**授業の受講**と**試験の受験**による成績が成果となります。

- 授業形態の種類：**
- ① 放送授業
 - ② オンライン授業
 - ③ 面接授業

特別な授業：体育実技、卒業研究
2021年度2学期から試行：同時双方向WEB授業

1. 放送大学の学習システム (〈学生生活の基教養学部〉P12~)

授業形態の種類ごとの「授業方法」と「試験方法」

①放送授業 (授業) 録画された講義をインターネットやテレビで視聴します
(試験) 通信指導：郵送もしくはインターネットで解答
単位認定試験：**Web受験方式** ※2022年度1学期から変更になりました

②オンライン授業 (授業) 録画された講義をインターネットで視聴します。
(試験) 有無は科目により異なります。
試験を行う場合はレポート・試験とも：インターネットで解答

③面接授業 (授業) 学習センターにて対面で受講します
(試験) 通信指導、単位認定試験は行いません
各授業の中で担当講師が指定する方法で試験があります

※状況によりZOOMを使用した授業に変更または閉講することがあります。(シラバスに記載)

1. 放送大学の学習システム (〈学生生活の栞教養学部〉P12~)

放送授業の 通信指導・単位認定試験が不合格であった場合について

通信指導・単位認定試験が不合格であった、次の学期に限り、（学籍がある場合）履修登録なし（学費の支払いなし）で試験を再度受験することができます。

科目履修生等で、学籍が切れる場合で、試験の受験を希望する場合は、継続して学籍を維持（再入学）いただく必要があります。

1. 放送大学の学習システム (〈学生生活の専任教養学部〉P12~)

◎科目登録申請スケジュール

教務情報システム（以下「システムWAKABA」という。）または郵送のいずれか一つの方法によりご申請ください。

スケジュール	時期・期間	注意事項
【システムWAKABAによる申請】 科目登録申請データ送信	2021年度第2学期の申請 8月15日(日)～8月31日(火) 2022年度第1学期の申請 2月13日(日)～2月28日(月)	○必ず申請期間内にご申請ください。 ○システムWAKABAによる申請の場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面内において申請内容の変更ができます。 ○郵送による申請の場合申請後は科目を変更できません。 ○申請内容は十分にご確認ください。 ○詳細は科目登録申請要項をご確認ください。
【郵送による申請】 科目登録申請票提出	2021年度第2学期の申請 8月15日(日)～8月30日(月) <必着> 2022年度第1学期の申請 2月13日(日)～2月27日(日) <必着>	
科目登録決定通知書・ 学費払込取扱票 送付	2021年度第2学期 9月上旬～中旬 2022年度第1学期 3月上旬～中旬	
学費の払込	2021年度第2学期 9月30日(木)までの 払込 2022年度第1学期 3月31日(木)までの払 込	学費は送付された払込取扱票で、所定の期日までに一括して払い込んでください。 いったん納入された学費は、学期開始前の科目登録取り止めの申し出の場合を除きお返しできません。また、申請された科目の一部取消（一部返金）もできませんのでご注意ください。
印刷教材等の送付 (第四種郵便)	2021年度第2学期 9月中旬～10月中旬 2022年度第1学期 3月中旬～4月中旬	印刷教材等は学費の入金確認後、発送します。入金後、20日間程度の期間を要します。
授業開始	2021年度第2学期 10月1日(金) 2022年度第1学期 4月1日(金)	オンライン授業の配信開始は 2021年度第2学期10月5日(火) 2022年度第1学期4月5日(火)

詳細は、2021年度第2学期、2022年度第1学期の各科目登録申請要項をご確認ください。

授業の履修登録

入学申請時に2022年度1学期授業の履修登録を行っていただきました。

2022年度2学期に受講する授業については、その学期が始まる前の決められた期間に、学生自身で科目登録の手続きを行います。

2. 学年暦 (〈学生生活の葉教養学部〉P10)

1 2021年度 学年暦

第 1 学 期							第 2 学 期					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
授 業	4/1 授業期間			7/14 7/15 夏期学習期間			10/1 授業期間			12/28 12/29 1/4 1/5 1/20 1/21 冬期学習期間		
	4/5 オンライン授業						10/5 オンライン授業					
	4/16 面接授業						10/15 面接授業					
手 続 き 等	上旬 卒業研究履修許可通知		5/7~5/28 (Web) 5/14~5/28 (郵送) 通信指導提出期間		7/16~7/22 単位認定試験		11/9~11/30 (Web) 11/16~11/30 (郵送) 初頭 卒業研究報告書 通信指導提出期間		1/23~1/30 中旬 試験通知 (受検票で 通信指導結果返送)		下旬 成績通知	
	9/15~8/30 (郵送) 科目登録申請						2/13~2/27 (郵送) 2/13~2/28 (Web) 科目登録申請					
	9月上旬~9月末 授業料納入						3月上旬~3月末 授業料納入					
次 学 期 の 準 備	2022年度 冊子の日程をご確認ください						2022年度第1学期募集要項配布					
	出願受付期間						出願受付期間					
	※合否判定は複数回行います。						※合否判定は複数回行います。					

※必ず2022年度版を確認してください

←放送授業

←オンライン授業

←面接授業

←試験の日程

- 通信指導
Web 5/9(月)~5/31(火)
郵送 5/16(土)~5/31(火)
- 単位認定試験
7/15(金)9:00~7/26(火)17:00

1. 合否判定は、出願受付期間を数回に分けて行い、その都度合格通知書等を送付します。
2. 夏季集中科目の履修スケジュールは、4月に学習センター等で配布する夏季集中科目履修生用募集要項等をご参照ください。

3. 学年暦に変更が生じた場合には、学習センターへ掲示、システム WAKABA、放送などでもお知らせします。
4. 面接授業の科目登録は、上記のほかに「追加登録」の機会があります。詳細は、63~65ページをご参照ください。

3. 学生証 (〈学生生活の栞教養学部〉P18~)

特段に必要なない学生は、学生証の交付を必ず行う必要はありません。

※感染症予防のため、このためだけに窓口に来られる必要はありません。

大学で必要な場面：学習センターを利用する際に携帯ください。

- ・図書室利用時
- ・証明書、学割等の交付時など

※学費を入金したのにまだ入学許可書届いてないという方は、大学本部での処理が完了していないため学生証が発行されていません。入学許可証がお手元に届いてから学生証の交付を行ってください。

7 学生証

学生証は、システムWAKABAに顔写真が登録された後、所属学習センターにおいてご本人が学生証の交付を受けてください。
※学習センターの開所時間を事前にご確認ください。



顔写真が未登録の場合、学生証は発行できません。顔写真の登録方法は、19ページをご確認ください。

ア 入学者の学生証の交付
学費入金確認後、約3週間後に送付される入学許可書をご持参の上、学期開始後できるだけ早いうちに、所属学習センターで交付を受けてください。
※交付についてのご質問・ご相談は所属の学習センターまでご連絡ください。

イ 学生証の有効期限と更新
学生証の有効期限は、全科履修生の場合は2年間、選科履修生の場合は1年間、科目履修生の場合は1学期間(半年間)です。
期限切れの学生証の更新は、古い学生証と交換で所属学習センターにて行います(休学中も更新は行えます)。なお、卒業・退学等により学籍を失った場合は、学習センターにご返還ください。

ウ 再発行
紛失、盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合および氏名の変更があった場合には、すみやかに再発行を受けてください。
その際には、「学生証再発行願」(巻末様式8)に所要事項を記入のうえ、所属学習センターに申請してください。発行手数料500円がかかります。

- エ 必要場面の例
- ・学習センター等を利用する場合
図書室・視聴学習室の利用、単位認定試験の受験、面接授業の受講等
 - ・各種証明書の交付を受ける場合
 - ・大学の行う行事等に参加する場合
 - ・学割証を発行・利用する場合(全科履修生のみ)
 - ・放送大学セミナーハウスを使用する場合

【顔写真の登録方法について】

正面向き、上半身、脱帽、6か月以内に撮影の、個人を判別できる写真をご用意ください。

- (1)インターネットによる登録
システムWAKABA → 画面中央タブ「教務情報」→「学生カルテ」画面右側の「顔写真を設定」より、操作説明に従いご登録ください。
(ファイルサイズ：1MB以下 形式：JPEG、PNG、BMP)
顔写真を登録済みの方は、(3)の対象者を除き登録が行えません。

- (2)郵送による登録
「写真票」(巻末様式12)を一般書留または簡易書留で送付してください。登録までに2週間程度要します。到着や登録確認にはお答えできません。

- (3)有効期限切れ学生証の更新の際に新しい写真を登録したい方
下記期間に限りシステムWAKABAで登録が行えます。

学生証の有効期限	登録可能期間
2021年9月末	2021年9月30日
2022年3月末	2022年3月31日

2022年度
冊子の日
程を
ご確認
ください

3. 学生証 (〈学生生活の栞教養学部〉P18~)

学生証の受け取り方法：

郵送での交付 もしくは
東京多摩学習センター3F事務室窓口で
入学許可書を確認の上交付しています。

郵送での交付手順 (右図の通り) →
(多摩学習センターHPにも掲載しています)

学生証の交付について

平時は学習センター窓口で交付を受け付けております。

平時でも郵送を希望される方や、新型コロナウイルス感染拡大防止のための窓口業務の停止期間中に学生証の交付を必要とする方は、以下の申請方法をお願いします。

取り急ぎ必要としない方は、学習センターが責任をもって保管しますので、急いで申請する必要はありません。

☞ 郵送での学生証交付申請方法

【新入学生】 4月1日以降の交付となります

- 1) 返送用として、宛先を明記した [レターバックライト\(青\)](#)
- 2) 入学許可書のコピー

【在 学 生】 1) 返送用として、宛先を明記した [レターバックライト\(青\)](#)

- 2) 有効期限切れの学生証

以上の2点を、放送大学東京多摩学習センター宛てにお送りください。

送付先：〒187-0045 東京都小平市学園西町 1-29-1
放送大学 東京多摩学習センター
電話 042-349-3467

顔写真が未登録の場合は、学生証を発行することができませんので【システム WAKABA】の「学生カルテ」から写真を登録するか、「学生生活の栞」巻末の「写真票」(様式 12) を本部学生課入学・履修係まで提出してください。

レターバックライト(青) 370円



送付先をご記入下さい。
(ご自身の住所)

「学生証」と明記してください。

はがさないでください。

4. システムWAKABA/キャンパスメール

(〈学生生活の葉教養学部〉P22、P112~)

「システムWAKABA」とは、

**放送大学学生の学修をサポートするための教務情報システム
のことです。**

このシステムでできること

大学からのお知らせや、履修・単位修得状況情報などの「情報閲覧」

科目登録申請などの「申請・手続」

インターネット配信による授業聴講などの「学習」



まなびー

システムWAKABAログイン方法

①放送大学公式ホームページを開く
「> 在学生」をクリックする



②「> 在学生」のページ



③ここをクリック

システムWAKABAログイン方法 つづき

④本人認証画面に移ります。

入学許可証に記載の「ログインID」と「初期Pass Word」を入力し、ログインボタンをクリックします。

放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

ログインID:
パスワード:

ログイン クリア

初期パスワードから一定期間たっても変更されていない学生の方は、ロックアウトされ、システムにログインできません。再入学等の学生であっても、過去にパスワード変更を行っていないと、ログインできない場合があります。その際には、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【新入生の方へ】
システムWAKABA初回ログイン時のログインID・パスワードは、入金確認後20日程度で送付される入学許可書（圧着はがき）に記載されております。入学許可書が未着の方は、到着までお待ちください。
※ 出願時の申請完了通知（メール）に記載の整理番号・パスワードは使用できません。

また、初回ログイン時は必ずパスワード変更を行ってください。
パスワードの変更は、下記URLより行えます。（ロックアウトされている方は行えません）
<https://sso.ouj.ac.jp/webmta/loginServlet>

【問い合わせについて】
ご自身で変更したパスワードを忘れてしまった場合など、上述のURLから変更が行えない方は、下記いずれかまでご連絡ください。
※メールでのお問い合わせに対する返信には数日かかる場合があります。
一度メールでのお問い合わせをされた方は、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

○学習センター（<https://www.ouj.ac.jp/hp/sisetu/center/access.html>）
○学生サポートセンター（電話：043-276-5111）
○教務課教務係（メール：kyomuka@ouj.ac.jp）

本人確認の上、初期パスワードに設定いたしますので、速やかにシステムWAKABAにログインの上、パスワードの変更を行ってください。なお、翌朝6時までにパスワードを変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

この画面は「システムWAKABA」「キャンパスメール」「図書システム蔵書検索OPAC」等のログイン画面であり、SSO（シングルサインオン）を提供します。

SSO（シングルサインオン）とは、上記のシステム等で1度ログイン操作を行なうことで、ブラウザを開くまでの間、他のシステムのログイン操作を行なうことなく利用が可能となる仕組みです。

SSOの機能を表現するために、セッションCookie（クッキー）を利用しています。セ

⑤認証が完了すると、左上に【放送大学の鳩のシンボルマーク】のメニュー画面に移ります。

ログイン完了です。

パスワード変更
について続いて
説明します

放送大学

お知らせ

前回のログイン日時
2021/08/28 13:53

色・プロフィール設定

パスワード変更

キャンパスメール

キャンパスライフ 授業サポート 教務情報

学内連絡
Web通信指導
オンライン授業
放送授業のインターネット配信
過去の単位認定試験問題・解答等
面接授業（第1学期）のページ
面接授業（第2学期）のページ
新規開設科目印刷教材（試し読み）
放送大学自己学習サイト
看護師国家試験学習支援ツール
修士論文閲覧
放送大学附属図書館
学習センター一覧
放送大学トップページ

個人リンク
表示するデータがありません

初期パスワードを変更してください

不正利用を防ぐため必ず初期パスワードの変更をするようお願いいたします。
入学後、一定期間経っても初期パスワードを変更していない場合は、
ロックアウトされ、システムにログインできなくなります。

パスワードを変更せずログインできなくなった場合は、大学での手続きが必要です

→東京多摩学習センターにご連絡ください。

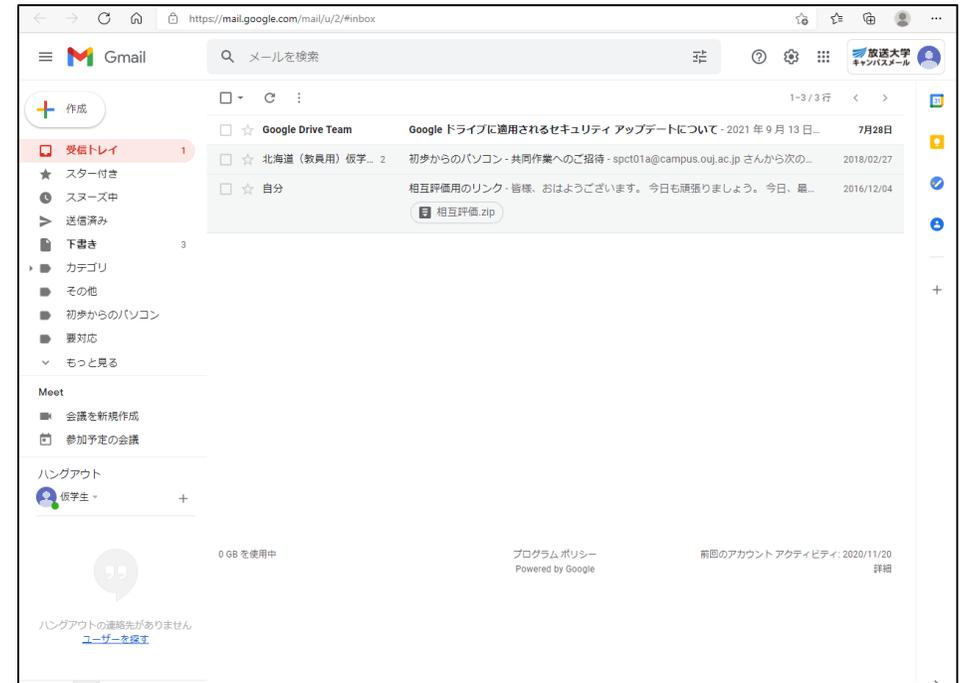
キャンパスメールとは：Webブラウザを利用したメールシステムです。

放送大学学生のための専用のメールアドレスに、大学本部や学習センターからのお知らせ等が届きます

キャンパスメールのログイン方法（複数ログイン方法があります）

システムWAKABAにログインする。

【放送大学の鳩のシンボルマーク】の下方の「キャンパスメール」をクリックする。
メール画面に移ります。



5. 学習センターについて (〈学生生活の葉教養学部〉P107~)

14 学習センターなどの利用方法

学習センターは、面接授業や単位認定試験を行うほか、学習相談に応じたり、図書・雑誌の閲覧や、放送番組を再視聴できる設備をもつ放送大学の施設です。(学習センター一覧 (138～140ページ))

学習センターを利用する際は、必ず学生証をご携行ください。

学習センターには、センター所長と数名の教員のほかに事務職員がおり、学習上の各種相談に応じます。

学習センターの利用内容

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ○放送授業の再視聴 | ○奨学生(日本学生支援機構奨学金)の募集 |
| ○面接授業の受講 | ○学生旅客運賃割引証の発行(全科履修生のみ) |
| ○単位認定試験の受験 | ○学生教育研究災害傷害保険の取扱い |
| ○学習相談 | ○サークル活動などの学生交流 |
| ○書籍、印刷教材の閲覧 | |
| ○証明書などの発行(サテライトスペース除く) | |

また、学習センターのランチ・センター的な機能を有する施設として、サテライトスペースを設置しています。(旭川市、八戸市、いわき市、浜松市、姫路市、福山市、北九州市)

サテライトスペースでは、単位認定試験を行うほか、放送番組の再視聴ができます(一部取り扱っていない業務がありますので、詳細は各サテライトスペースにお問い合わせください)。

なお、学習センターなどは、次の日を除いて開所しています。

ア 月曜日

イ 国民の祝日に関する法律に定める祝日および休日

ウ 年末年始(12月29日～翌年1月3日)

エ その他学長または学習センター所長が特に必要と定めた日

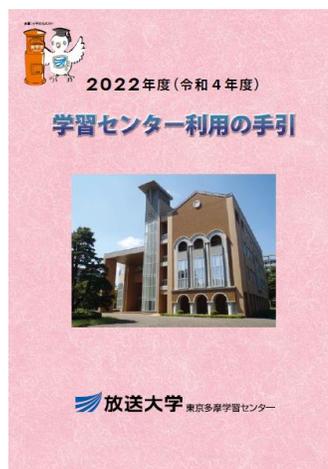
ただし、臨時閉所などにより、開所日を変更する場合があります。

開所日および開所時間は、利用する学習センターなどにより異なります。

「学習センター利用の手引」および学習センターホームページ(www.ouj.ac.jp/hp/sisetu/center/access.html)をご覧ください。

-110-

2022年度
冊子をご確認ください



所属の学習センター、その他の学習センターで活動できることが異なります。

詳しい内容は、学生生活の葉、東京多摩学習センターの学習センター利用の手引きをご覧ください。

※緊急事態宣言時などは、感染症予防のため利用できる内容・時間などが大きく変更することがございます。

変更する場合は、東京多摩学習センターのHPでご案内をいたします。

6. 履修計画の立て方

(〈学生生活の栞教養学部〉P42～)

2 履修計画のたて方

(1) 科目選択の方法

ア 履修計画

放送大学では、自分で科目を自由に選択して学習することができます。『授業科目案内』を参考にして、自分の学習目的や興味・関心に基づいて履修計画を立ててください。

イ 科目の選択

本学は、年間2学期制を採用しており、それぞれの学期ごとに授業は完結します。科目の選択も学期ごとに行う必要があります。

『授業科目案内』に記載されている授業科目の講義概要、放送番組「授業科目案内」（放送日時は放送大学番組ガイドを参照）をご参考にして、科目の選択を行ってください。また、科目を選択する際には、単位認定試験の日時や放送時間などを確かめて、実際に履修ができ、かつ試験が受けられるかどうかを確認する必要があります。

面接授業については「面接授業時間割表」で授業内容・日程をご確認のうえ、学習センターなどの授業に出席できるかを必ずご確認ください。オンライン授業については授業科目案内の「オンライン授業について」と、各科目のシラバスの履修上の留意点をご確認のうえ、科目登録をしてください。

(2) 全科履修生の学習

全科履修生の場合は、放送大学を卒業することが目的となりますので、計画的に履修することが必要となります。

ア 卒業要件

卒業するためには、全科履修生として4年（第2年次編入生にあっては3年、第3年次編入生にあっては2年）以上在学し、①科目区分に係る要件と②授業形態に係る要件の両方を満たすことが必要です。

(備考) 1. 2009～2015年度のカリキュラムの方の卒業要件は52～54ページ、2008年度以前のカリキュラムの方は55～58ページをご参照ください。

以下の方は42～45ページの卒業要件となりますのでご注意ください。

- ・卒業・退学・除籍（在学年限満了等）で2016年4月以降に再入学した方
- ・2015年度以前の入学者のうち新カリキュラムへ移行した方

2. 修業年限については、48ページの「エ 修業年限および在学年限」をご参照ください。

3. 全科履修生として入学した方が本学の選科履修生、科目履修生または研究生として既に修得した単位については、入学時に卒業の要件となる単位として通算されます。

4. 新たに本学の全科履修生として第1年次に入学する方が出願時に申請した場合、他の大学または短期大学等において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を調査のうえ、30単位を上限に卒業に必要な単位とします。ただし、修業年限は短縮されません。

なお、第2年次、第3年次編入学における単位については、50ページの「オ 編入学等」を参照ください。

2022年度
冊子を
ご確認ください

①科目区分に係る要件

基盤科目から14単位以上、コース科目（導入科目、専門科目、総合科目）からあわせて76単位以上修得し、総計124単位以上を修得する必要があります。ただし基盤科目については、外国語を2単位以上、コース科目については、自らが所属するコースが開設する科目を34単位以上、他コースが開設する科目を4単位以上修得する必要があります。なお、卒業研究の6単位は、自らが所属するコースの専門科目の単位として認定します。残りの34単位については、科目区分を問いません。

学習の目的に応じて各自計画

科目履修生、選科履修生：

ご自身の興味、資格取得での必要性などの事情に応じて計画

全科履修生：

卒業、学位の取得を目指して計画

卒業要件は2つ

①科目区分による要件

②授業形態による要件

総計124単位

= 14単位 (基盤科目) + 76単位 (導入科目、専門科目、総合科目)
+ 34単位 (科目区分を問わず)

科目区分	修得すべき最低単位数		単位の認定方法
	科目区分を問わない単位数		
基盤科目	14単位	うち外国語 2単位	卒業研究の6単位は、所属するコース(自コース)の専門科目として認定する。
コース科目	導入科目	うち自コース開設 34単位 うち他コース開設 4単位	
	専門科目		
	総合科目		
計	124単位		

(注)「資格取得等に資する科目」のうち、看護師資格取得に資する科目の単位は、コース科目(うち他コース開設)において修得すべき最低単位数に算入する。

②授業形態に係る要件

放送授業は、卒業するために必要な総計124単位のうち科目区分にかかわらず、最低94単位を修得する必要があります。また、面接授業またはオンライン授業は、科目区分にかかわらず最低20単位を修得する必要があります。ただし、オンライン授業3科目「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「幼児理解の理論及び方法(15)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」については、「授業形態を問わない単位数」として取り扱います。

なお、卒業研究の6単位は、3単位を放送授業、3単位を面接授業の単位として認定します。また、残りの10単位については、授業形態を問いません。

総計124単位 = 94単位 (放送授業)
+ 20単位 (面接授業またはオンライン授業)
+ 10単位 (授業形態を問わず)

授業形態	修得すべき最低単位数		単位の認定方法
	授業形態を問わない単位数		
放送授業	94単位	10単位※	卒業研究の6単位のうち3単位を放送授業、3単位を面接授業の単位として認定する。
面接授業またはオンライン授業	20単位		
計	124単位		

※オンライン授業3科目「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「幼児理解の理論及び方法(15)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」は、卒業要件上は「授業形態を問わない単位数」として取り扱う。

③放送大学大学院で修得した単位の教養学部卒業要件単位認定について

全科履修生が在学期間中(休学期間を除く)に本学大学院の修士選科生・修士科目生として履修した単位については、その単位をあわせると卒業見込となる時期に申請することで、全科履修生の卒業要件となる単位として認定されます。認定された科目は所属するコース(または専攻)以外の専門科目となります。ただし、その場合には、大学院修士全科生として入学後、修了要件となる単位として使用することはできません。

申請期間：第1学期(9月)に卒業見込の場合
4月1日(木)～5月31日(月)(必着)
第2学期(3月)に卒業見込の場合
10月1日(金)～11月30日(火)(必着)

2022年度
冊子の日
程を
ご確認
ください

申請方法など、詳細は所属学習センターまたは大学本部学生課卒業判定係までお問い合わせください。

【単位修得方法】

① 基盤科目(外国語および保健体育を含む)から14単位以上を修得

してください。

- ② 基盤科目のうち、外国語から2単位以上を修得してください。
- ③ コース科目（導入科目、専門科目、総合科目）から76単位以上を修得してください。
- ④ コース科目のうち、自らが所属するコースが開設する科目から34単位以上を修得してください。なお、所属するコースにおいて共用科目として設定されている科目の単位もこれに含まれます。また、卒業研究の単位もこれに含まれます。
- ⑤ コース科目のうち、他のコースが開設する科目から4単位以上を修得してください。
- ⑥ 放送授業から、科目区分にかかわらず、94単位以上修得してください。
- ⑦ 面接授業またはオンライン授業から、科目区分にかかわらず、20単位以上修得してください。
※卒業要件を満たした場合は、要件を満たした学期末で卒業となります。（注：卒業研究は、履修期間が4月から翌年3月までの1年間であるため、履修中は第1学期末で卒業要件を満たしても、卒業とはなりません。）卒業する時期については、各自において修得単位数などを考慮の上、履修計画を立ててください。

イ 卒業研究

卒業研究は、全科履修生の選択科目です（必修ではありません）。卒業研究を履修するためには、履修を希望する前年度に、卒業研究申請書を提出し、審査により履修が認められることが必要です。申請をするためには、原則、申請年度（履修開始前年度）の4月1日の段階で全科履修生として2年以上在学し、62単位以上修得していなければなりません。

「2年以上在学」とは、全科履修生として、休学期間および、停学期間を除いて2年（2年次編入学者にあたっては1年）以上在学しなければならないということです。3年次編入学者は2年以上在学したものとみなします。2年次編入学者は1年在学したものとみなします。

卒業研究の履修は、指導教員の指導の下で研究を進め、卒業研究報告書をまとめます。卒業研究の単位は、卒業研究報告書の審査および面接審査に合格することにより、所属するコースの専門科目として6単位認定されます。この6単位のうち3単位は放送授業として、3単位は面接授業として単位認定されます。

卒業研究に係る日程等の詳細（履修申請期間、方法など）については、各学習センターの窓口で配布する「卒業研究履修の手引」で、ご確認ください。また、この手引は毎年作成されますので、必ず最新の冊子をご入手ください。2022年度履修者用の「卒業研究履修の手引」は2021年6月上旬に各学習センター窓口において配布予定です。（休学期間中に、申請および履修はできません）

申請後に休学や卒業をすると履修資格を失います。

2022年度卒業研究履修申請書提出期限：2021年8月13日（金） ～8月19日（木）（必着）
2022年度卒業研究報告書提出期限：2022年11月1日（火）（消印有効）

2022年度
冊子の日
程を
ご確認
ください

ウ 体育実技

体育実技は、全科履修生の選択科目です（必修ではありません）。科目登録後に各地で社会体育事業などとして行われている各種の体育・スポーツ教室などに参加することにより、面接授業1単位として認定されます。通信指導および単位認定試験は実施されません。なお、体育実技科目履修に係る費用は、すべて本人の負担となります。

体育実技履修に係る詳細（履修方法、履修時間等）は、「体育実技履修の手引」をご参照ください。「体育実技履修の手引」は、放送大学のホームページ（システムWAKABA）からダウンロードできるほか、最寄りの学習センターにおいても閲覧することができます。

また、どのような種目が認められるかなどについては、システムWAKABA「キャンパスライフ→学習案内」に掲載している「体育実技かんたんガイド」もご参考ください。

なお、体育実技に関する質問および手引の入手方法については、大学本部学生課卒業判定係までお問い合わせください。

エ 修業年限および在学年限

① 入学年次と修業・在学年限

本学を卒業するためには、所定の単位（124単位）を修得するとともに、以下の修業年限（卒業までに最低限在学しなければならない期間〔休学期間除く〕）の条件を満たす必要があります。

修業年限および在学年限（在学ができる最長期間〔休学期間除く〕）は次のとおりです。

区 分	入学年次	修業年限	在学年限
第 1 年 次 入 学	第 1 年 次	4 年	最長10年
他大学等からの編入学	第 2 年 次	3 年	最長 8 年
	第 3 年 次	2 年	最長 6 年
本学を卒業して再入学※	第 3 年 次	2 年	最長 6 年

※本学を卒業した方が、2016年4月以降に再入学する場合は、上記の要件に加え再入学したコースのコース科目から新たに16単位以上修得する必要があります。詳細は94ページをご覧ください。

なお、以前に本学を退学・除籍により学籍を失った方が再び全科目履修生に入学する場合は、以前の在学期間（4年を限度）が認定されます。

注意）在学年限内であっても、学費納入がない期間が4学期続くと、除籍となります。

病気、出産、仕事および家庭等の事情により修学（科目登録）が困難な場合は、休学の手続きを取ってください。休学期間は、学費納入がない期間には算入しません。

② 修業年限の通算

本学選科・科目履修生の在学経験があり全科目履修生への入学時に修業年限の通算を希望される方

本学の選科・科目履修生として一定期間在学し、所定の単位数を修得した方が全科目履修生として入学した場合、次ページの区分に応じて、修業年限に通算することができます。

選科・科目履修生としての修得単位数および当該単位の修得に要した期間	通算される年数	修業年限	在学年限
31単位以上修得し、かつその単位の修得に要した期間が1年以上	1年	3年	8年
62単位以上修得し、かつその単位の修得に要した期間が2年以上	2年	2年	6年

注意）本学の選科・科目履修生として単位を修得した期間中に、以下の期間がある場合は、その期間は修業年限の通算の対象となりませんのでご注意ください。

- (1) 他大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程または高等学校等専攻科の学生であった期間
- (2) 大学入学資格取得以前に本学の選科・科目履修生であった期間（放送大学で所定の単位〔16単位〕を修得し、入学資格を得た場合は、当該入学資格を有する前の期間と修得単位は対象になりません。）

この通算の適用を受けることを希望する場合は、全科目履修生出願時に申請を行ってください。認定結果は、合格時に通知します。

なお、この制度の適用を希望するにあたり、下記の点について十分にご留意ください。

- i) この制度は出願時に申請した場合のみの適用となりますので、入学後、改めて修業年限の通算の適用を受けることはできません。また、あくまでも本学の選科・科目履修生として修得した単位および修業期間を対象としますので、他大学などで履修した単位および期間は対象とはなりません。
- ii) 通算される年数は自動的に換算されるため、申請時に通算される年数を選択することはできません。
- iii) 単位認定試験の結果が出る前に申請した時は、単位修得状況によっては、通算の措置を受けることができない場合があります。

2022年度
冊子をご確認ください

- iv) 出願票提出後の新たな申請や取り消しはできません。また、認定された修業年限通算の変更、取り消しはできません。
- v) 他大学などで修得した単位の認定制度または編入学制度との併用はできません。

オ 編入学等について

次に該当する方は、全科履修生として編入学し、既修得単位の認定を受けることができます。

- ・他大学を卒業・退学した方
- ・短期大学を卒業した方
- ・高等専門学校を卒業した方
- ・一定の基準を満たす専修学校専門課程を修了した方
- ・一定の基準を満たす高等学校等専攻科を修了した方

なお、既修得単位の認定結果は4月入学者には6月中旬、10月入学者には12月中旬に通知されます。不明な点がございましたら、通知後1か月以内に本部学生課へお問い合わせください。

編入学者および転入学者の既修得単位の認定については以下のとおりです。

区分	卒業要件 単位数	科目区分 を問わな い単位	第2年次編入学	第3年次編入学
			本学入学前に修得した ものとみなす単位	本学入学前に修得した ものとみなす単位
基 礎 科 目	14単位 うち外国語 2単位	34単位	14単位以下 うち外国語2単位以下	14単位以下 うち外国語2単位以下
専 門 科 目	76単位 うち自コース開設 34単位		17単位以下 うち自コース開設扱い 4単位以下	48単位以下 うち自コース開設扱い 12単位以下
合 計	124単位 〔94単位〕 〔20単位〕		—	—
合 計	—		31単位以下 (10単位以下)	62単位以下 (20単位以下)

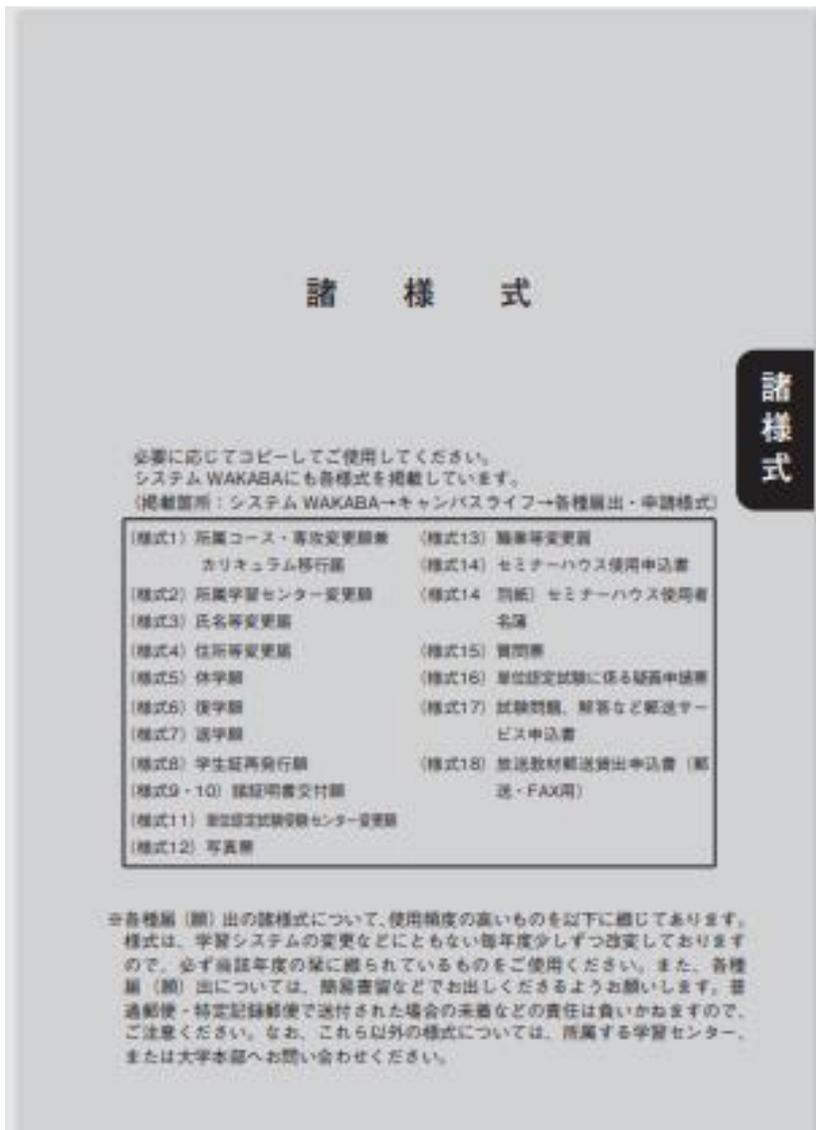
[]は放逐授業で修得すべき単位数で内数です。

()は面接授業で修得すべき単位数で内数であり、()は面接授業の単位数で内数です。



7. 諸手続・諸証明書

(〈学生生活の契教養学部〉P85～、100～、書式P145～)



諸手続

〇〇願と〇〇届の違い

「〇〇願」は願い出のため、大学で許可された場合に認められます。

「〇〇届」は、住所の変更など、既に申請している事項に変化などがあった
場合にお知らせいただくものとなります。事実であることを確認するため、証明
書等の提出が必要である場合があります。

手続を行う際は、以下をよくご確認ください。

○申請手続きの受付期間

○申請書提出等の方法

※書類の提出先をよくご確認ください。

※WEB(wakaba)で手続きができるものもあります。

7. 諸手続・諸証明書

(〈学生生活の契教養学部〉P85～、100～、書式P145～)

12 各種証明書の発行

すべての証明書の発行については、学習センターで行っています。大学本部およびサテライトスペースでは行いませんのでご注意ください。

次ページの表に記載の証明書①～⑥については、所属学習センター以外の学習センターでも発行します。「諸証明書交付願」(巻末様式9)に所要事項を記入のうえ、発行手数料(1通につき200円)と返信用封筒(切手貼付、あて名明記)を同封して、郵送または学習センター窓口にてご請求ください。

⑦～⑨の証明書の発行については、必ず所属学習センターにご申請ください。⑦～⑩の証明書の発行には2週間程度かかりますので、十分余裕を持ってご請求ください。

注1) 各種国家試験や入学試験などに関係書類を提出するために、その締め切り間際になって証明書の発行を請求する事例がありますが、発行が間に合わない場合がありますので十分にご注意ください。

注2) 科目履修修認制度(放送大学エキスパート)に係る科目群履修証明書などの取り扱いは別になりますので、大学本部連携教育課資格取得支援係までお問い合わせください。

注3) キャリアコンサルタント更新講習(知識講習)に係る修了証明書の取り扱いは別になりますので、大学本部連携教育課連携協力係までお問い合わせください。

諸証明書の発行手数料について

【学習センターに郵便で請求する場合】

- ① 現金の場合は、必ず現金書留とすること。
 - ② 郵便為替の場合は、郵便局で手数料相当分(1通につき200円)の〔郵便定額小為替証書〕を購入して送付すること。(郵便定額小為替証書の「受取人氏名欄」などには何も記入しないこと。)
- なお、手数料として相当額の郵便切手を同封した場合などは、受理せずにそのまま返送することとなりますのでご注意ください。

【学習センターの窓口で請求する場合】

現金で、その場で納付すること。

区分 証明書の種類	証明書の内容	申請先	対象学生				
			全科履修生	選択科目履修生	集中科目履修生 司書教諭	研究生	特修生
①在学証明書(英文を含む)	現在在学していることの証明	学習センター	○	○	○	—	—
②成績・単位修得証明書(英文を含む)	現在までに修得した授業科目の単位数および評価の証明	学習センター	○	○	○	○ (科目登録者のみ)	○
③卒業証明書(英文を含む)	卒業したことの証明	学習センター	○ (卒業生のみ)	—	—	—	—
④卒業見込証明書(英文を含む)	卒業する見込であることの証明	学習センター	○	—	—	—	—
⑤在学期間証明書(英文を含む)	在学した期間の証明	学習センター	○	○	○	○	○
⑥履修証明書(英文を含む)	現在履修している科目などの証明	学習センター	○	○	○	—	—
⑦教員免許状申請用の単位修得証明書(学力に関する証明書)(注1参照)	教員免許状に関する授業科目の単位数の証明	所属学習センター	○	○	—	○ (科目登録者のみ)	—
⑧資格関係の単位修得証明書(注2参照)	各資格に関連する授業科目の単位数の証明	所属学習センター	○	○	○	○ (科目登録者のみ)	—
⑨大学院受験のための調査書(注3参照)	大学院を受験するための基礎資格などの証明	所属学習センター	○	—	—	—	—
⑩単位認定試験受験証明書	受験をしたことの証明	受験学習センター	○	○	— (注4参照)	—	—

(研究生および特修生の制度は廃止になりました)

注1. 教員免許状申請用の単位修得証明書(学力に関する証明書)

巻末様式10の「諸証明書交付願」に、所持している免許状の種類および教科と申請する免許状の種類および教科、教員または講師としての在職年数などを明記のうえ、所属学習センターあてに郵便によりご請求ください。



発行申請（郵送の場合）・・・以下を、学習センターまでお送りください。

① 証明書交付願

② 発行手数料

③ 返信用封筒（切手貼付、宛先明記）

① 証明書交付願

〈学生生活の葉教養学部〉P149～に、
書式が記載されています。

② 発行手数料

- ・定額小為替をご利用いただくと便利です。
切り取ったり、記入せずそのまま送付ください。
- ・現金を送る場合は、必ず現金書留を使用することとなっております。
過去に、普通郵便で送付されたために、
郵便局の機械を通す際に硬貨が封筒から出てしまい
空の状態が届き、再送いただいた事例がございます。



切り取らない

③ 返信用封筒

証明書用封筒のサイズは、長 3 封筒より少し小さくなっています。
3 通以上の証明書を申請する場合は、角 2 封筒をお送り願います。

○東京多摩学習センターの「多摩ゼミ」、「学習相談」

東京多摩学習センターには、所長と9名の客員教員の先生が所属しています。

「学習相談」

学習の進め方、修士課程進学に関する相談など、客員教員の先生に直接アドバイスをいただけます。

予約は東京多摩学習センター事務室までお問合せください。

客員の先生の専門分野等は、学習センター利用の手引き（P47,48）に掲載されています。

「多摩ゼミ」

所長と客員教員それぞれの専門分野によるゼミを開催しています。

単位の修得は伴いませんが、先生と直接ディスカッションをしながら、知識を深められる貴重な機会となっています。



2022年度第1学期 多摩ゼミのご案内

多摩ゼミでは、学生が自主的に研究、発表、討論を行います。放送大学客員教員の指導のもと、同じテーマに興味を持つ学生同士で勉学をすすめて知識を深められる貴重な機会です。皆様のご参加お待ちしております！ ※単位の修得はありません。(新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止になる場合もございます)。

「『マハーバーラタ』を読む」

講師:金沢 篤 先生(前駒澤大学仏教学部教授)

開催日程:6月2日・9日・16日・23日(全4回・木曜日)

11:30~12:30

場所:4階 多目的室(対面形式) 定員:8名

インド最大の叙事詩『マハーバーラタ』中の有名なエピソード「サーヴィトリ物語」を定評ある和訳で読みます。インド文化の根底にあるインド人の人間観・世界観などを理解する上で、恰好の体験となることでしょう。

【テキスト】『サーヴィトリ物語』(前田式子訳)『世界文学体系4 インド集』筑摩書房(1959年)。(テキストはこちらで用意します。)

「医療に欠かせない麻酔を知る、考える」

講師:深山 治久 先生(東京医科歯科大学名誉教授)

開催日程:4月24日・5月15日・22日・29日(全4回・日曜日)

13:30~15:00

場所:3階ゼミ室4(対面形式) 定員:8名

歯を抜く、胃カメラで検査する、処置や手術をするなどには痛みをブロックするために麻酔を使います。麻酔は大きく分けると局所麻酔と全身麻酔に分けられます。受講者の体験も交えて、どのように使い分けられているかを糸口にして麻酔の全体を説明します。さらに、麻酔の副作用はないのか、本当に安全なのかをわかりやすく解説する予定です。

「ことばを見つめる一日本語学へのアプローチ」

講師:太田 陽子 先生(一橋大学大学院言語社会研究科教授)

開催日程:5月24日・31日・6月7日・14日(全4回・火曜日)

14:00~15:30

場所:4階 多目的室(対面形式) 定員:8名

ふだん何気なく使っている日本語について、気になること、興味のあることを見つけて発表してください。各自が自分のテーマを持ち寄り、先行研究と実例を調べ、自分なりの考察を報告。ゼミでは、そのテーマを受講生全員でディスカッションします。

【受講の条件と用意するもの】小さなものでもかまわないので、自分なりのテーマを決めて参加してください。授業日までに、自分のテーマについて調べ、簡単にまとめておいてください。

「近代絵画を考える」

講師:木嶋 彰 先生(拓殖大学名誉教授)

開催日程:6月1日・8日・15日・22日(全4回・水曜日)

11:00~12:30

場所:3階ゼミ3(対面形式) 定員:8名

急進的な変貌を遂げた近代絵画の軌跡を概観します。そこには画家の思想や感性を超えた地平、すなわち近代社会の光と影が垣間見えます。芸術不在と言われる21世紀、その要因を考える機会となることを願っています。

「能『鞍馬天狗』をよむ」

講師:姫野 敦子 先生(清泉女子大学文学部准教授)

開催日程:6月23日・30日・7月7日・14日(全4回・木)

14:30~16:00

場所:4階 多目的室(対面形式) 定員:8名

日本の伝統芸能、能を身近に感じるためのゼミです。能の台本である謡本を読んで、最後にその演目のビデオを鑑賞します。今回の曲目は『鞍馬天狗』です。『義経』から題材をとった、牛若丸が鞍馬寺にいたときの逸話を描く華やかな能です。日本の中世の雰囲気を感じ取っていきましょう。

「AI、機械学習の名著ビショップの『パターン認識と機械学習』を読む」

講師:森川 馨 先生(東京多摩学習センター客員教授、国立医薬品食品衛生研究所 名誉所員)

開催日程:4月24日・5月29日・6月19日・7月10日(日曜日)

*以後、毎月1回(日曜日)に開講予定(全12回)

10:30~12:00, 13:00~14:30

場所:多目的室等(対面形式) 定員:15名

*遠隔地の方が参加を希望する場合は、Zoomでの同時配信も考えますが、学習面での不便も生じるかと思えます。ご了承ください。

AI、機械学習を学ぶとき必読であり世界的名著であるビショップの『パターン認識と機械学習』を1年間かけて読み切ります。大学のゼミとして行うので、本物にチャレンジし勉強したいと思います。AI、機械学習を本当に理解し勉強したい方には役立つと思います。

【テキスト】『パターン認識と機械学習』上下 C.M.ビショップ 丸善出版

*原著はWebで公開されています。

●HP、所内掲示板にてご案内します

申請方法

Zoomで開講する多摩ゼミのご案内 ★ご自身のパソコンでご参加ください

「ゲーテ『ファウスト』を読む(その4)」

講師:久保 哲司 先生(一橋大学大学院社会学研究科特任教授)

開催日程:5月13日・20日・27日・6月3日(全4回・金曜日)

11:00~12:30

開催方法:Zoomで行います。定員:8名

2021年度第2学期に引き続き、ドイツ文学の最高傑作といわれるゲーテ『ファウスト』を邦訳で読みます。前回は第1部の「教会堂」の場(273ページ)まで終えましたので、前回参加できなかった方はそこれまで読んでおいてください。今回は「ヴァルブルグスの夜」からです。

【テキスト】ゲーテ作、柴田翔訳『ファウスト(上)』講談社文芸文庫

1,540円(税込) (各自ご用意ください)

「ブルーネスタを読む」

講師:中野 知律 先生(一橋大学大学院社会学研究科特任教授)

開催日程:4月21日・5月12日・6月2日・23日(全4回・木)

13:30~15:00

開催方法:Zoomで行います。定員:8名

マルセル・ブルーネ(1871~1922)の『失われた時を求めて』の第一篇「スワン家の方へ」第三部「土地と名」を精読します。この箇所を論じてみたいと思います。

【テキスト】岩波文庫の吉川一義訳『失われた時を求めて2 スワン家の方へII』を各自ご用意ください。その(pp. 423-519)が今回の読みの対象となります。

「『ユリシース』を読む」

講師:金井 嘉彦 先生(一橋大学大学院法学研究科特任教授)

開催日程:6月10日・24日・7月1日・8日(全4回・金曜日)

14:00~16:00

開催方法:Zoomで行います。定員:8名

ジョイスの『ユリシース』は1922年2月2日に出版されたことから、今年は『ユリシース』出版100年にあたる。有名な割に、難解であるために、途中で挫折することの多いこの作品の読み方を探る。

【募集期間】

東京多摩学習センター所属学生 4月5日(火)~

他学習センター所属学生 4月10日(日)~

【申し込み方法】

東京多摩学習センターにメールでお申し込みください。

受付は、先着順とし、定員に達し次第受付を終了いたします。

メール記載内容:メールタイトル「多摩ゼミ申込」、氏名、学生番号、所属学習センター、希望ゼミ名、連絡先(電話、メールアドレス)

メール送信先:tama-sc@ouj.ac.jp

※

【受講料】無料(但し、テキスト代等の実費がかかる場合がございます。)

ご清聴ありがとうございました。

通常であれば、お気軽に事務室の窓口にお問い合わせください、と案内をさせて頂くところなのですが、対面での説明などはできる限り控えている状況となっています。
相談事などがありましたら、メールでのお問い合わせをいただけますようお願いいたします。

メールアドレス tama-sc@ouj.ac.jp

充実した学生生活となるようサポートします。
昨年度から引き続き、コロナ感染症の関係でさまざまな予定が急に変更となる可能性がございます。
放送大学のホームページや、東京多摩学習センターのホームページに、ご案内を掲載させていただきます。

2022年4月 放送大学東京多摩学習センター教務係

